

これより先は、**ク リ ー ン ル ー ム (CR)** です。
所定の手続きを行ってから入室してください。(クラス)

クリーンルームとは、ゴミを極端に排除された特殊な部屋です。
目に見えるゴミはもとより、目に見えないゴミ (0.5 μ m) も排除しています。

ダンボール・紙・布・鉛筆 等の持ち込みは出来ません。

入室に関しては、十分に注意を払って入室してください。

入室についての心構え

1. 所定の服装に着替えて入室すること。
2. 入室前に手を洗うこと。
3. 工具・道具の持込には最善の注意を払うこと。
4. 必ずアルコール等で拭き取ってから持ち込むこと。
5. 発塵性のあるものは持ち込まない。

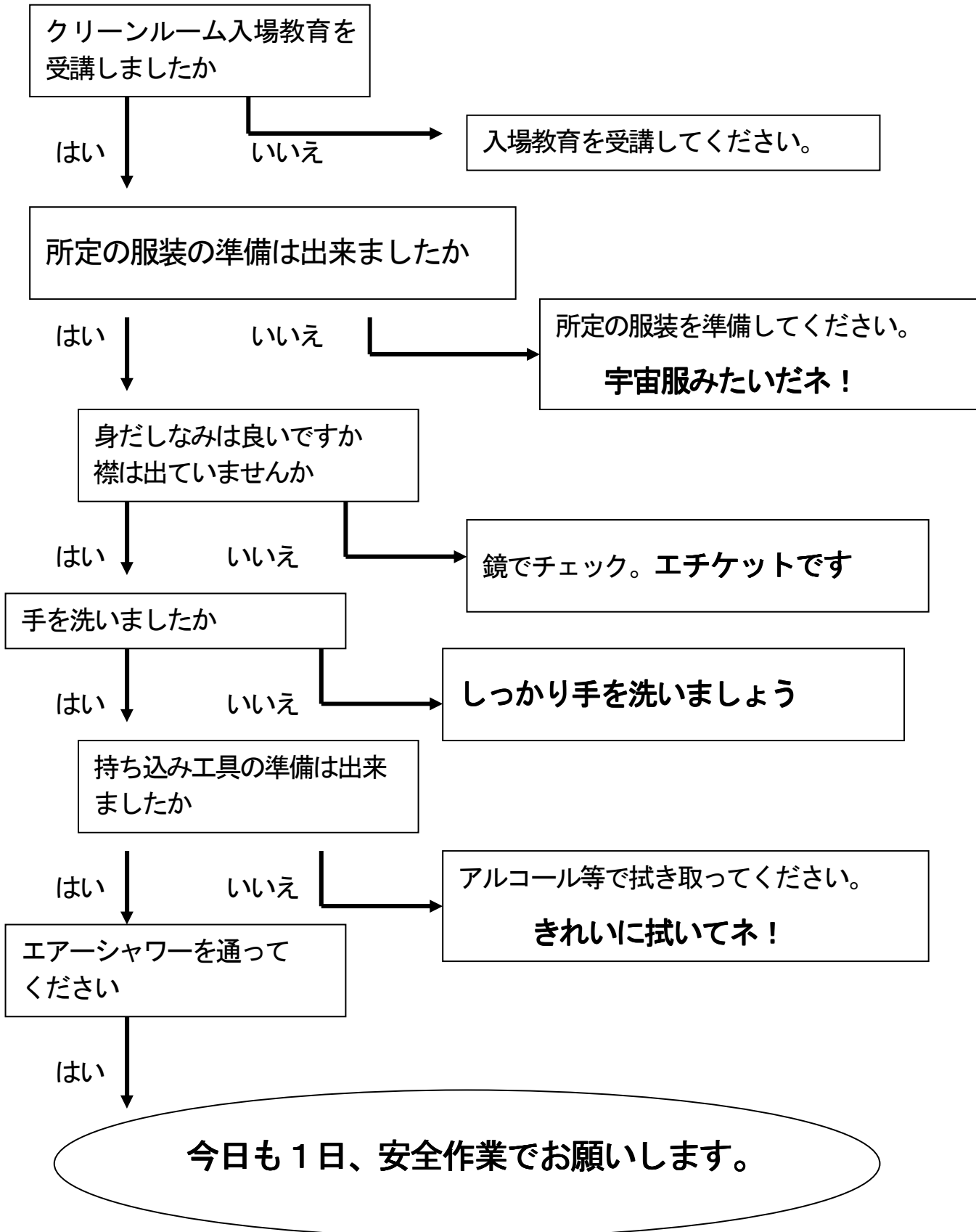
CR内での注意事項

1. ゴミを持ち込まない。
2. ゴミを発生させない。
3. 清掃を必ず行う。
4. 筆記用具は、CR専用の筆記用具を使用して下さい。

＊ 不明な点がありましたら、職長もしくは、担当者まで尋ねてください。

みんなで、**清浄度維持** (クリーンルーム管理) に
ご協力してください。

クリーンルーム入室チャート



クリーン化清掃 打合せ手順

1. 床面積・壁面積・天井面積を確認、出来れば柱面積も確認する
(グレーチング仕様の場合は、注意)。
2. 床・壁・天井の材質(床なら塗装の種類、壁・天井ならクロス貼・塗装の種類)使用する溶剤によって、塗装に注意、クロス貼の場合、テープ部からのはがれに注意。
3. 既設設備の有無の確認。バルブ等の位置確認。本来、既設設備の清掃は避ける事(精密機械の場合センサーの位置が狂う恐れがあり、又、バルブ等の調整が狂う恐れがあるため)既設設備の養生においても同じ事が言えるので、養生の際は、確認してもらう事。
4. 純水を使用する場合、純水の供給を話し合う事。出来れば支給してもらう純水が無ければ、粗清掃時に上水で清掃し、本清掃において薬品を使用する。
5. 下見段階で、床・壁・天井・既設設備等のキズの有無を確認する事。
清掃後のトラブルを避けるため。
6. 打合せ段階で使用する薬品を明記し、成分を確認してもらう(溶剤によっては、製品に影響が出るため)一般的には、純水・アルコール(消毒用・燃料用)・リグロインを使用する。アルコールは、クロスの種類・色によっては変色する恐れがあり、シミ・油性には余り効果が無い。燃料用は火気に注意、リグロイン(ベンジンを精製したもの)においては、揮発性が高く油性等にも効果があるが、火気に注意が必要。シンナー系は、特に注意が必要であり、塗装関係の汚れ以外は、使用しない事、アクリル・塩ビに使用すると変色・変形し、完全に取除ないと清浄度にも影響が出る。ステンレスの清掃においては、ヘアライン加工等によって、油性・手跡等、拭き掃除では困難なので、一般清掃に使用するマジックリン等を使用して良いかどうかを確認する事。

クリーン化清掃手順

- ・ 清掃前に、床・壁・天井・既設設備等のキズの有無を確認する事。
- ・ 既設設備の清掃又は、養生の確認。
- ・ 使用する溶剤に問題が無いかどうかを確認。
- ・ 天井部からの清掃を行う。床にゴミが落ちてても床清掃時に清掃が出来る。
- ・ 照明器具・突起部・扉部・バルブ・フランジ部等、ゴミが溜まっている所、溜まりやすい所等確実に清掃する事。
- ・ 壁面の清掃。制御盤などが設置されている場合が多いので、盤内の清掃にも注意但し、電気が通電されている場合があるので感電に注意の事。又、溶剤の使用は避ける(発火の恐れがあるため)。
- ・ 床面清掃。グレーチングの場合は、グレーチングを引きずらない事。傷の原因になるグレーチングとの隙間、補強・足床下などの清掃を確実に。
- ・ 一通りの清掃が終われば全体を確認。
- ・ 再度床面の清掃、そして、確認。
- ・ 清掃終了。

クリーン化清掃における注意点

クリーン化清掃においては、必ず、手袋を使用する事
(自分の指紋で汚してしまう)。

清掃中は立入禁止とし、終了時間を明記し、協力を願う。

空調器は動かしてもらったほうが良い
(RAでの清掃が出来るため)。

服装・用品に注意し、発塵性のある物は使用しない事。

クリーン化清掃で特に注意する事は、目視出来るゴミのない事であり、最終確認において手袋を外し、原始的ではあるが、手で確認する事。

清掃後は必ず担当者に確認してもらい、サインをもらう事。
(清掃後に作業する場合があるので、汚れてしまう事があり、責任の所在をはっきりとしておくため)。

作業員全員がクリーンルームについての知識を知っておく事。

クリーン化清掃準備備品

ク リ ー ン ル ー ム 清 掃 作 業 手 順

_____ 御中 作業日 年 月

日

作業場所 _____ 床面 _____ m² 作業人員 _____ 名

- ルーム内粗清掃 純水・上水 使用
床面モップ、雑巾がけ 及び、掃除機清掃、天井・壁面モップ清掃
- 既設設備清掃 純水・上水・リグロイン・アルコール使用
蛍光灯・給排気設備・扉・既設装置・既設製造設備
- クリーン清掃 純水・上水・リグロイン・アルコール使用
床・壁・天井クリーンペーパーモップがけ、クリーン掃除機清掃
* 上水・純水は、御支給願います。
- 仕上げ 帯電防止コーティング（コートロン使用）
- 清浄度測定
清浄度 クラス _____ 粒子径 _____ um FL _____ 測定ポイント

点

特 記 事 項 備 考 ・ 破 損 状 況

床面材質 _____

壁面材質 _____

天井面材質 _____

準 備 備 品 項 目

純水・アルコール・リグロイン・ベンコットン・クリーンペーパー・無塵衣
モップ・バケツ・雑巾・スプレー・掃除機・クリーン掃除機
測定器・報告書・クリーン紙・コートロン

清 掃 後 確 認 事 項

塵埃の有無・手垢 汚れの確認・既設設備清掃の確認・既設設備の破損確認

備 考 _____

最 終 確 認

ご担当者ご確認サイン _____

ご迷惑をお掛けいたします。

- ◇ リーク測定
- ◇ 清浄度測定
- ◇ 清浄度回復測定
- ◇ 風速測定
- ◇ 騒音測定
- ◇ 温湿度測定
- ◇ 室内圧力測定

上記 作業中につき、
入室はご遠慮ください。

担当 _____

担当者 _____

連絡先 _____

年	月	日	～	年	月	日	まで、
年	月	日	～	年	月	日	まで、
年	月	日	～	年	月	日	まで、
年	月	日	～	年	月	日	まで、
	:		～		:		まで
	:		～		:		まで
	:		～		:		まで
	:		～		:		まで

何かございましたら、上記担当者までご連絡下さい。

クレンジング剤

入浴禁止

:

～

:

まで

清浄度測定中

入立禁止

:

～

:

まで